

八代のあゆみ		
旧石器	約2万年前 紀元前4500頃	熊本に人が住み始める。 産島貝塚(古閑浜町)
縄文時代	紀元前3000頃	有佐貝塚(鏡町有佐)①
	紀元前2500頃	田川内貝塚(日奈久新田町)
	紀元前2000頃	五反田貝塚(敷川内町)
	紀元前400頃	鐘楼堂貝塚(井上町)
弥生	2~3世紀頃	上日置女夫木遺跡(上日置町)②
	4世紀後半	用七遺跡(長田町)
古墳時代	4世紀後半	この頃より高塚古墳がたくさんつくられる。 大鼠蔵楠木山古墳(鼠蔵町)③ 高島古墳(高島町)
	5世紀後半	有佐大塚古墳(鏡町有佐) 田川内第一号古墳(日奈久新田町)④ 大塚古墳(上片町)⑤
	6世紀後半	谷川古墳群(岡町谷川)⑥ 鬼の岩屋古墳群(上片町)



② 大規模な弥生時代の集落の跡
上日置女夫木遺跡
上日置町

弥生時代は、今から2400年ほど前から約700年続
き、八代でも、弥生時代につくられた土器や、米づ
くりに使われた鋤や鍬などの木製品がたくさん見
つかっています。



東西300m、南北200mにわたって貝の層が広がる巨大な貝塚です。今から5000~3000年前の遺跡と考えられています。貝塚は、海の近くや貝がたくさんとれるところで見つかっています。八代で、貝塚のある場所をみると、いまより内陸部に海岸線があったことがわかります。

市指定 ① 有佐貝塚
市指定史跡 鏡町有佐

縄文時代は、今から約1万2千年前から約1万年間続き、このころから人々は土器をつくるようになり、動物や魚の骨などを捨てた跡が残っており、これを「貝塚」といいます。

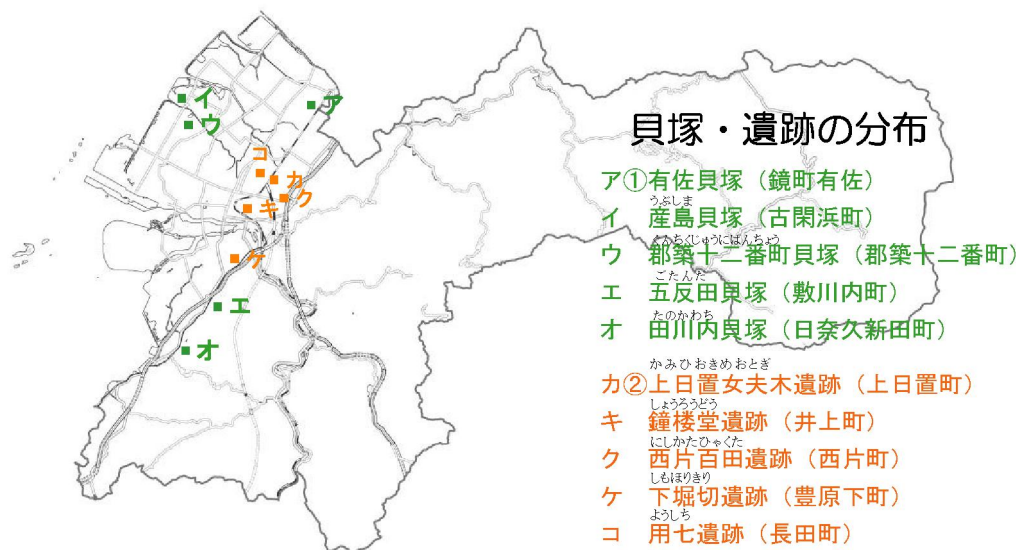


用七遺跡で見つかった土器



小銅鐔

平成16年(2004)に部分開通した九州新幹線新八代駅周辺には、大規模な弥生時代の集落の跡が見つかっています。上日置女夫木遺跡は、ちょうど新八代駅のところにあり、2世紀から3世紀頃(1900年~1800年前)の遺跡です。この時代、朝鮮半島を通じて、青銅器や鉄器が伝わってきました。この遺跡からは、青銅製の小銅鐔が見つかっています。銅鐔の出土例としては熊本県内で初めて、国内では最南端であることから、どのようなルートで八代に伝わったのか注目されています。



市指定 ⑤ 八代を代表する前方後円墳
大塚古墳
市指定史跡 上片町

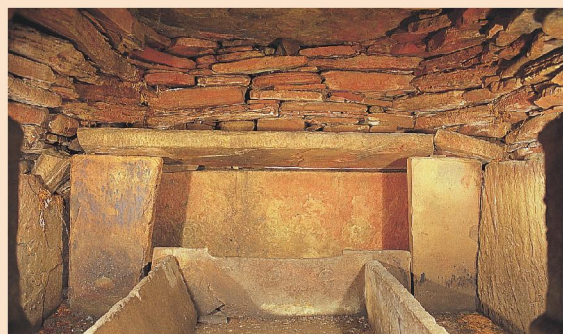


大塚古墳出土人物埴輪(市指定文化財)

全長が約56mもあり、八代平野でいちばん大きな前方後円墳です。この古墳からは、たくさんの埴輪が出土し、なかでも、女性の頭部をあらわした埴輪は、頭にまげを結び、頬に赤い色を塗り、耳には耳飾りをつけるなど、貴重なもので市立博物館に展示されています。

古墳の周りには公園が整備され、発掘調査の様子や埴輪の模型などが展示されています。

6世紀中頃(約450年前)の築造といわれています。



県指定 ④ 色鮮やかな装飾のある古墳
田川内第一号古墳
県指定史跡 日奈久新田町

石室の内部に装飾をもつことで知られている古墳です。墳丘の形は円墳で、石室内部にはあざやかな朱色が残っています。石室の中は板石で仕切られており、この板石に円文が彫られています。

この古墳からは、5体分の人骨が発見され、両腕に貝輪(貝製のブレスレット)をはめているものがありました。5世紀後半(約1500年前)の古墳で、この辺りを支配した有力者の墓と考えられています。



市指定 ③ 大鼠蔵古墳群
小鼠蔵山古墳群
市指定史跡 鼠蔵町

球磨川の河口には、大鼠蔵山・小鼠蔵山と呼ばれる大小ふたつの小山が佇み並んでいます。これらは、もともと八代海に浮かぶ島だったところで、干拓によって江戸時代後期に陸続きになりました。

大鼠蔵山の山頂にある2つの古墳(楠木山古墳・尾張宮古墳)のうち、楠木山古墳は八代地域でもっとも古く、4世紀後半(約1600年前)につくられたものです。この古墳からは人骨や鉄製の剣、碧玉製紡錘車、土師器が見つかっています。尾張宮古墳は、内部を赤く塗り、仕切り石に3つの円文を彫った装飾古墳です。



巨大な石でつくられていて、すね。いったいどうやって運んだのでしょうか。昔の人は鬼が運んだかと思いきや、この「鬼の岩屋」と呼ばれています。もともとは土でおおわれた直径10mほどの「円墳」だったものですが、こうした鬼の岩屋式石室のある古墳が八代地域にはたくさんあり、龍峯地区や上片地区周辺に、現在20ヶ所ほど確認されています。6世紀後半から7世紀はじめ(約1400年前)につくられたものです。

市指定 ⑥ 大きな岩を組んでつくった古墳
谷川第一号古墳
市指定史跡 岡町谷川

古墳時代 4世紀のはじめから6世紀にかけて、古墳がつくられるようになります。これらは、八代地域を支配した有力者のお墓です。